

3-13 神奈川県油壺における岩石比抵抗変化観測報告 (1991年4月～1992年4月)

Variation in Earth Resistivity at Aburatsubo (April, 1991 – April, 1992)

東京大学地震研究所
地球電磁気部門

Earthquake Research Institute, University of Tokyo

神奈川県油壺における岩石比抵抗変化について、1991年3月までの観測結果はすでに報告した^{1)~10)}。今回は同年4月より1992年4月までの観測結果について報告する。

第1図及び第1表に上記期間に油壺において観測された地震に伴う比抵抗変化の記録を示す。

比抵抗はいずれも地震時の変化である。比抵抗の変化量は地震の規模、震央距離からみると今までのものと同じ程度である。その大きさは油壺観測点における地震動の強さにほぼ比例して大きくなっている。変化の方向はNa 75とNa 76が増加、Na 77が減少である。これは夏に増加、冬に減少という傾向があり、今回もその様になっている。これらのマグニチュード、緯度、経度、その他は気象庁の震源速報により記した。

参 考 文 献

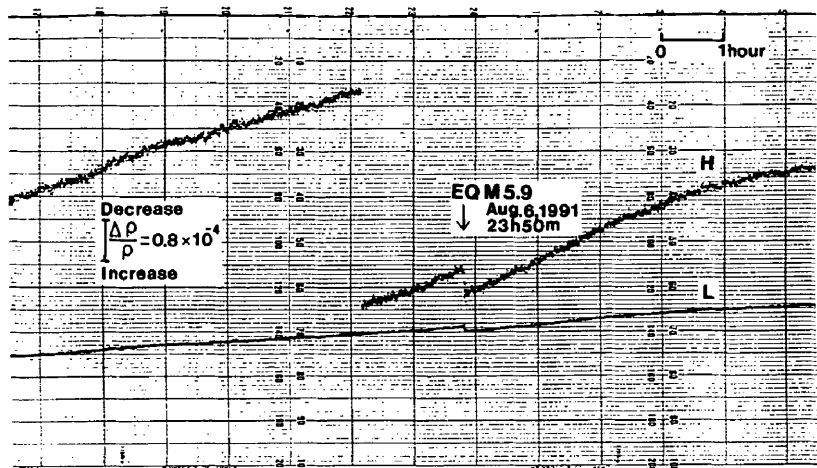
- 1) 東京大学地震研究所・地球電磁気部門：神奈川県油壺における岩石比抵抗変化，連絡会報，33 (1985)，205-209.
- 2) 東京大学地震研究所・地球電磁気部門：神奈川県油壺における岩石比抵抗変化観測報告，連絡会報，33 (1985)，210-211.
- 3) 東京大学地震研究所・地球電磁気部門：神奈川県油壺における岩石比抵抗変化観測報告，連絡会報，35 (1986)，201-202.
- 4) 東京大学地震研究所・地球電磁気部門：神奈川県油壺において観測された地震に伴う比抵抗変化について，連絡会報，36 (1986)，177-179.
- 5) 東京大学地震研究所・地球電磁気部門：神奈川県油壺における岩石比抵抗変化観測報告，連絡会報，38 (1987)，219-223.
- 6) 東京大学地震研究所・地球電磁気部門：神奈川県油壺における岩石比抵抗変化観測報告，連絡会報，40 (1988)，325-330.
- 7) 東京大学地震研究所・地球電磁気部門：神奈川県油壺における岩石比抵抗変化観測報告，連絡会報，41 (1989)，215-219.
- 8) 東京大学地震研究所・地球電磁気部門：神奈川県油壺における岩石比抵抗変化観測報告，連絡会報，43 (1990)，124-130.
- 9) 東京大学地震研究所・地球電磁気部門：神奈川県油壺における岩石比抵抗変化観測報告，連絡会報，45 (1991)，160-162.

- 10) 東京大学地震研究所・地球電磁気部門：神奈川県油壺における岩石比抵抗変化観測報告，連絡会報，46（1991），172-175.

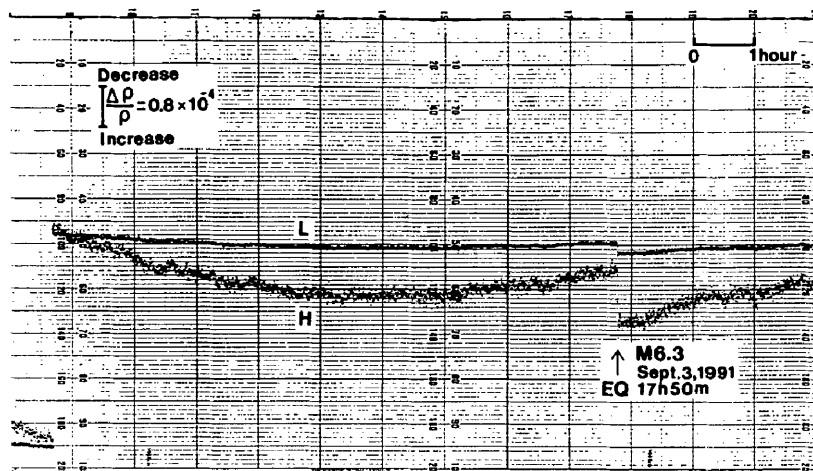
第1表 油壺における比抵抗変化を伴った地震とそれによる比抵抗変化

Table 1 Resistivity changes at Aburatsubo associated with earthquakes.

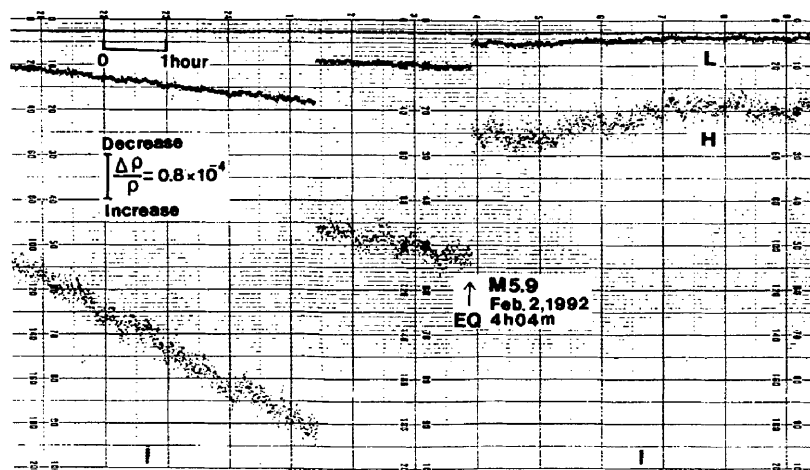
| 番号 | 年月日 | 時分 | マグニ チュード | 緯度 | 経度 | 深さ km | 震央距離 km | 比抵抗変化 $\times 10^{-4}$ | 備考 |
|----|----------|-------|-------------|---------|----------|----------|------------|---------------------------|-------|
| 75 | 1991 8 6 | 23 50 | 5.9 | 35° 49' | 141° 10' | 43 | 158 | +0.4 | 銚子付近 |
| 76 | 1991 9 3 | 17 45 | 6.3 | 33 41 | 138 50 | 33 | 179 | +1.1 | 三宅島近海 |
| 77 | 1992 2 2 | 4 4 | 5.9 | 35 14 | 139 48 | 92 | 17 | -2.4 | 東京湾 |



75



76



77

第1図 油壺において観測された地震に伴う比抵抗変化

Fig. 1 Changes in earth resistivity observed at Aburatsubo in association with earthquake occurrence.